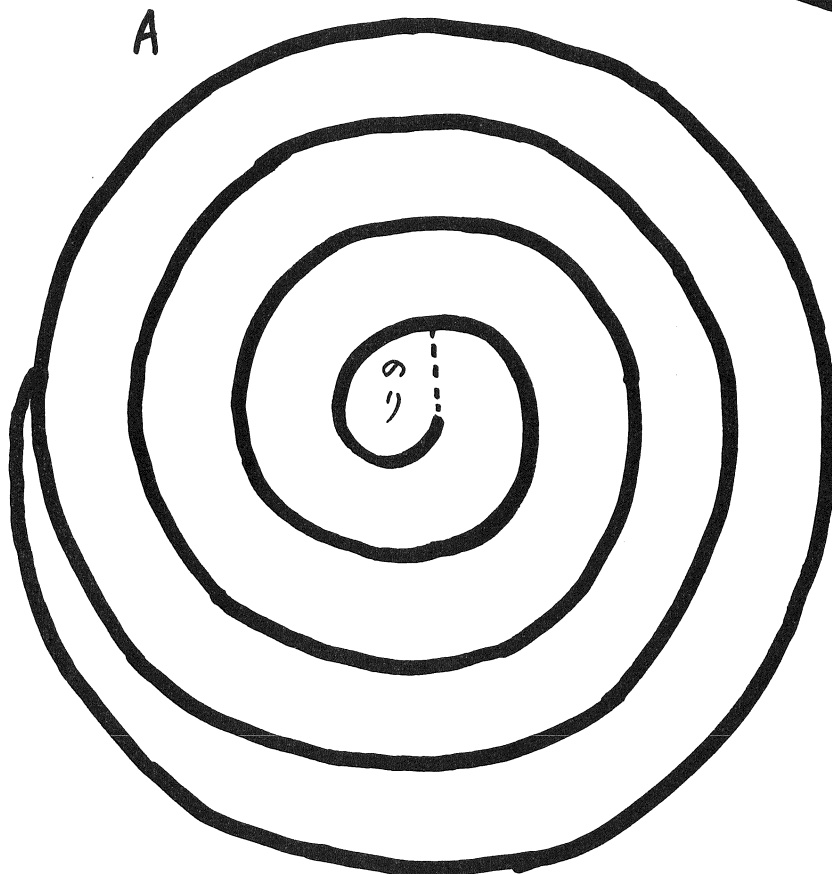
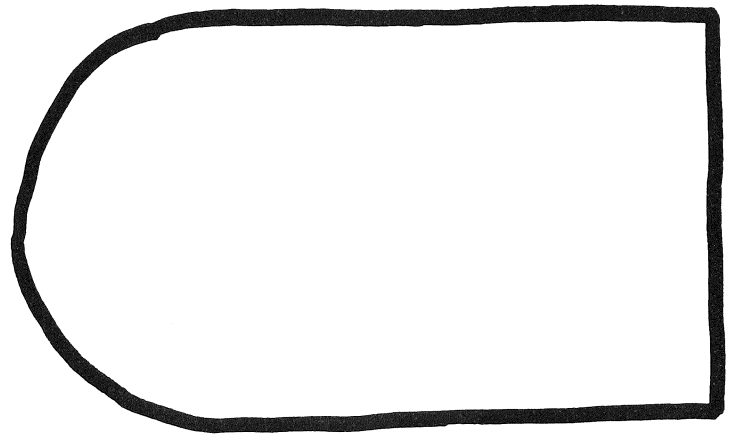
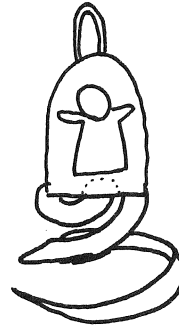


なまえ \_\_\_\_\_

- ① AとBを太い線で切り取る。  
Aはうずまき状に切る。
- ② エリヤに色をぬる。
- ③ Aの点線を谷折りにし。Bをはりつける。
- ④ Bの裏にゴムをセロテープでとめる。  
(ひもでもよい)



なまえ \_\_\_\_\_

- ① ①を太い線で切り取る。  
火に色をぬる。
- ② イザヤの胸にある太線に切り込みを入れる。
- ③ にイザヤ42・1のみことばを書く。(今日の嗜唱聖句)
- ④ 切り込みに④を通して、  
火が大きくなるように  
動かしてみる。

本紙  
④ 

イザヤ

イザヤ42・1

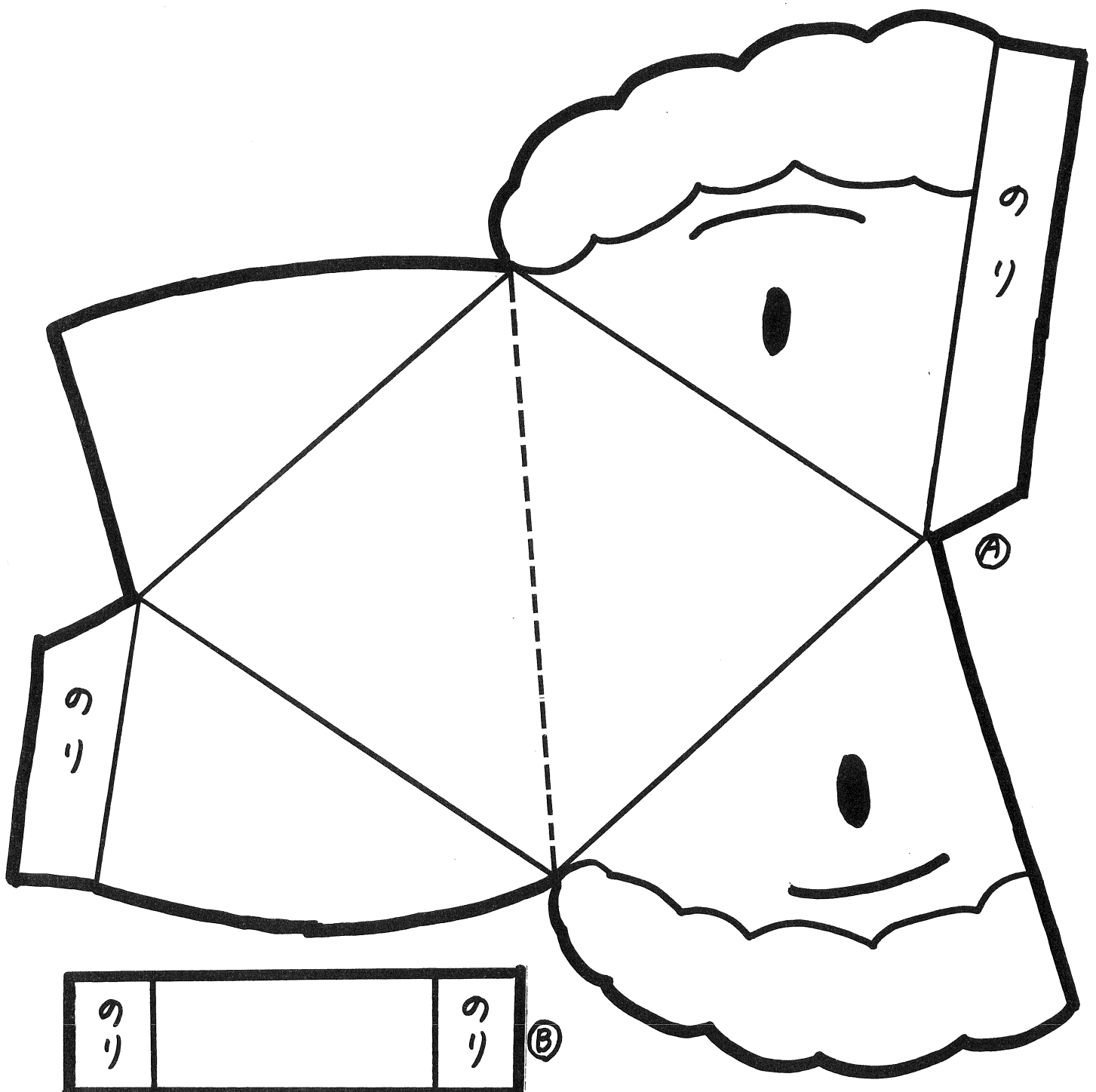
① 太い線でAとBを切り取る。

② Cの裏にBをのりではる。

③ Aの—は山折り。  
---は谷折りにして、  
のりの部分をはる。

④ ゆびをさしこんで、  
ひらいたり、とじたりする。

なまえ \_\_\_\_\_




A 2009 10月25日

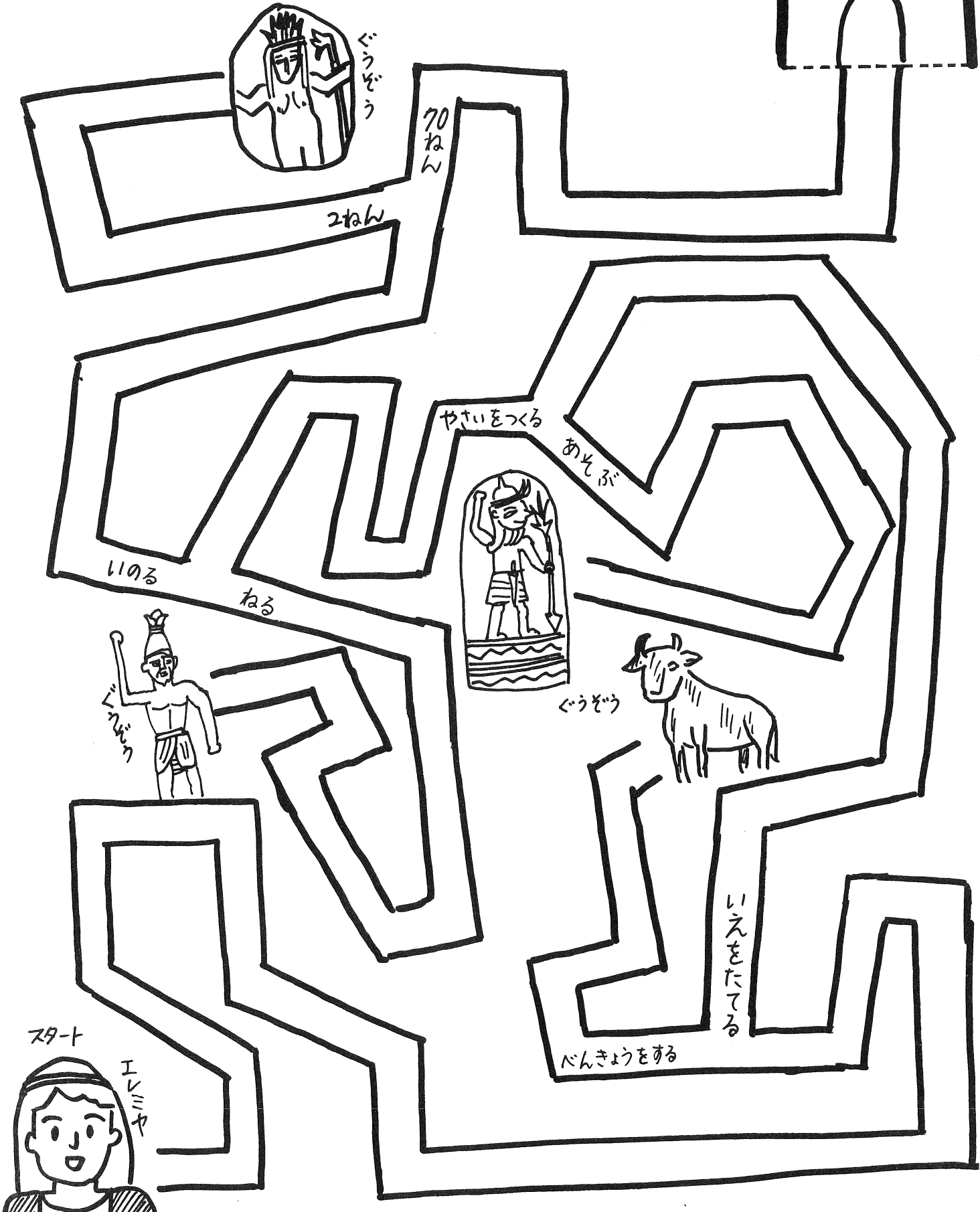
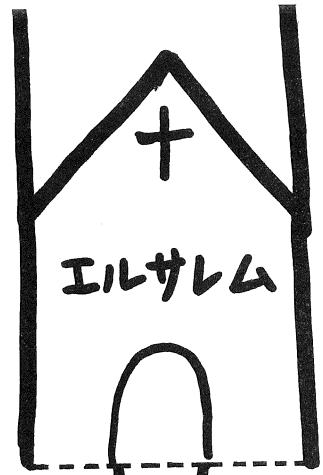
さいこう けいかく  
最高の計画

あなたのかみとともにあゆむこと  
ではないか。 ミカ6・8

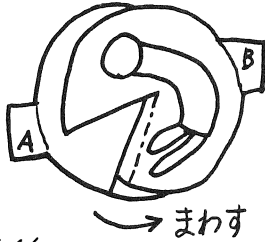
なまえ

① 太い線で切り、----を谷折りに  
して立てる。 

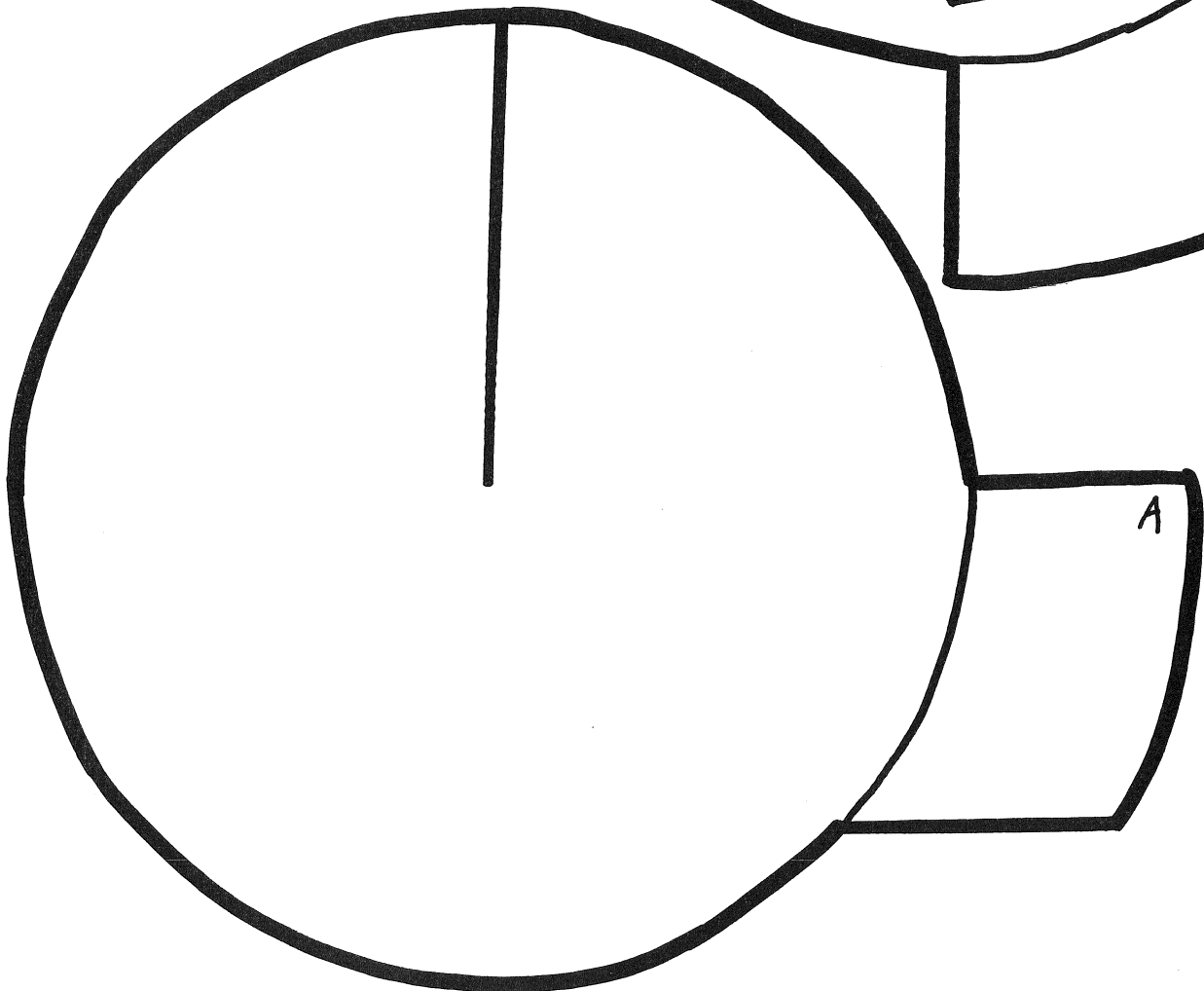
② スタートから、エレミヤの預言で正しい  
ものを選びながら、エルサレムへ行く。



- ① Aの丸の部分を水色にぬる。
- ② Bのエゼキエルに色をつける。
- ③ AとBを太い線で切り取る。  
また、両方に切り込みも入れる。
- ④ AとBを組み合わせる。

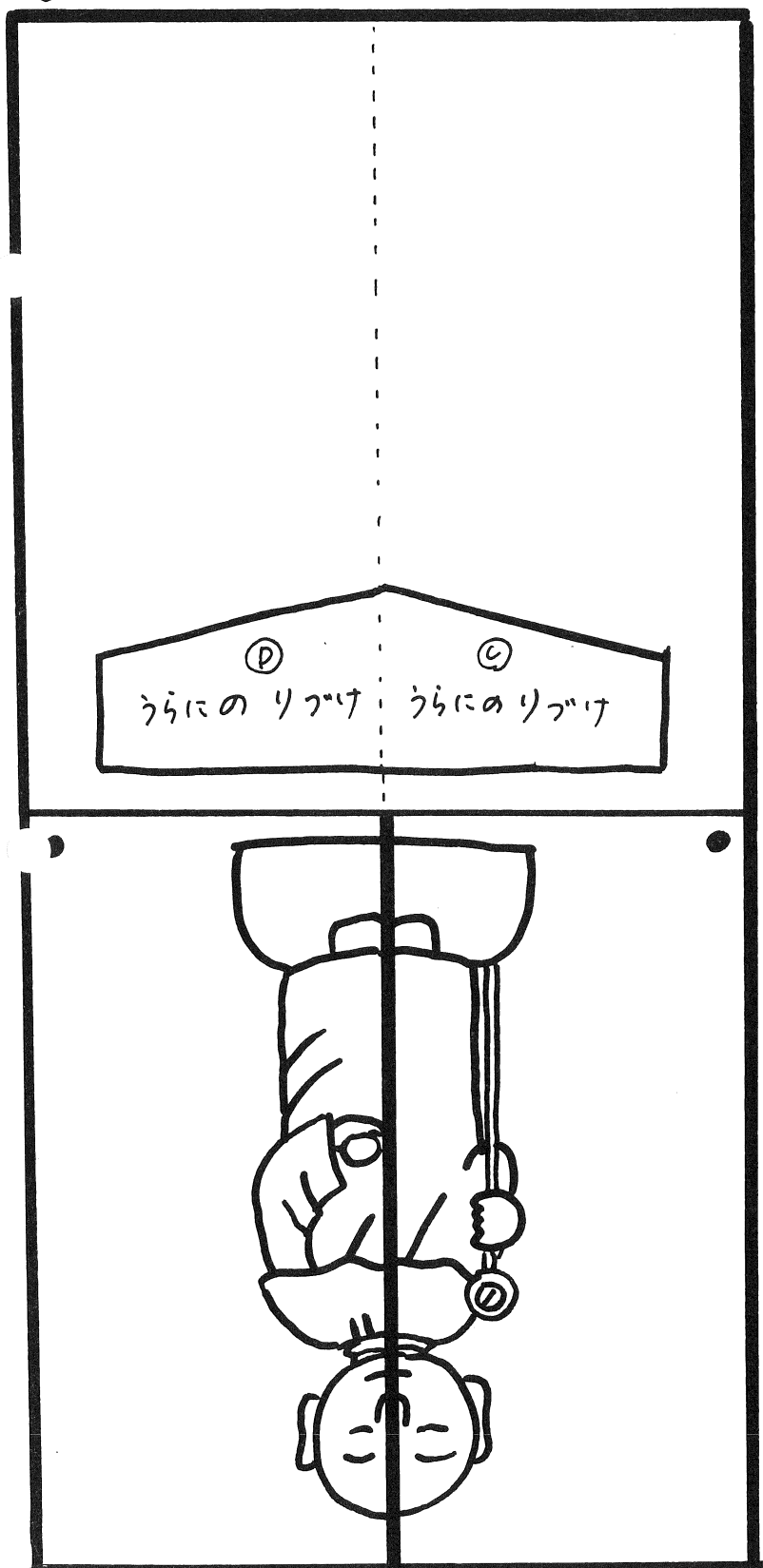


- ⑤ Bの点線に  
Aの切れ目を合わせて  
水が増えていくように  
Aだけまわす。



なまえ \_\_\_\_\_

①

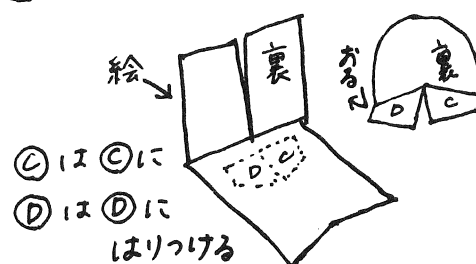


① ①と②に色をつける。

② ①と②を太い線で切り取り、  
切り込みを入れる、

③ ①を点線で山折りにする。

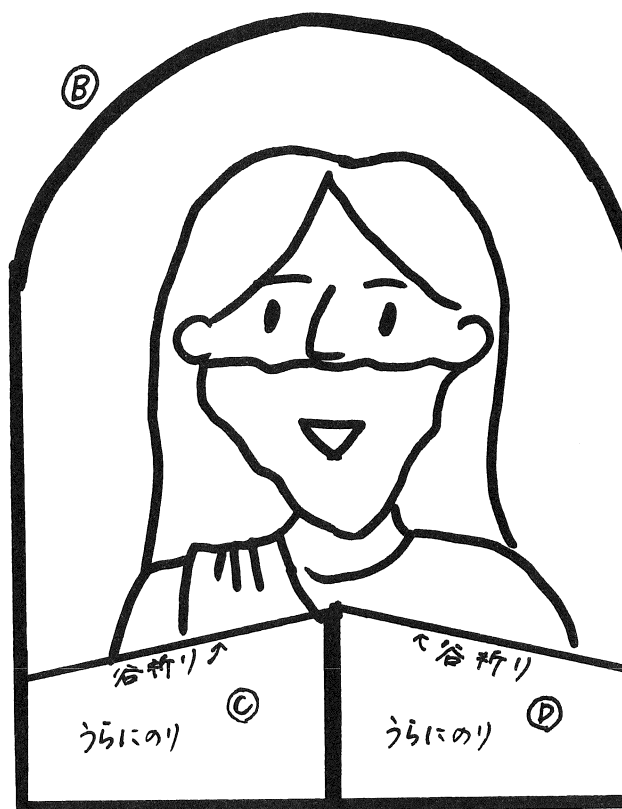
④ ②を①にのりつける。



⑤ 下のはし●を持って、左右に開く。



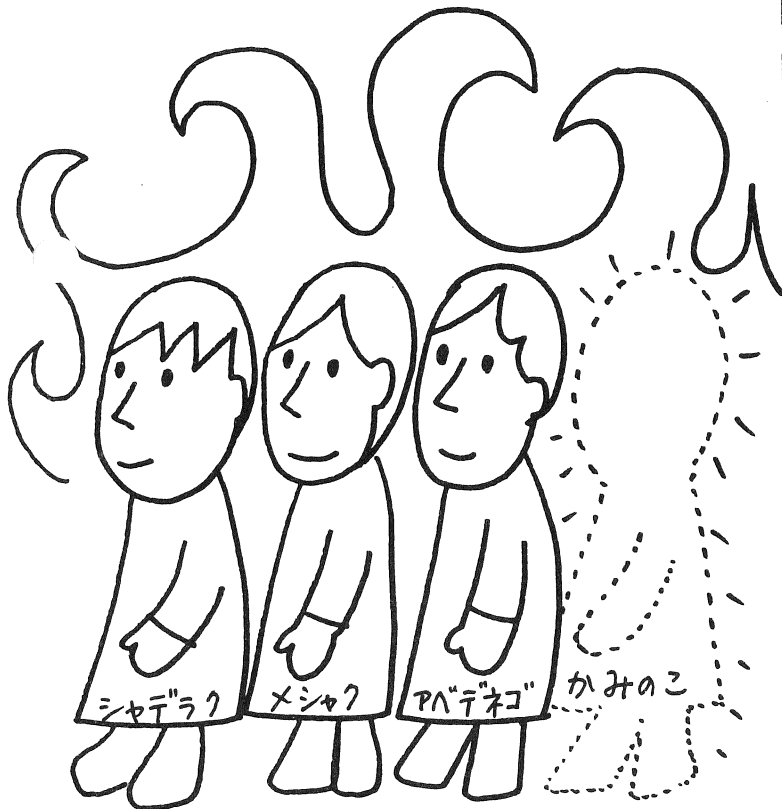
②



A 2009 11月15日 3せいねん

ひとりのかみがてんにおられます。

ダニエル 2・28



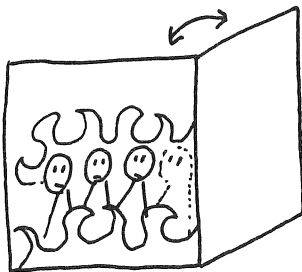
ハ

- ① Aに色をぬり切り取る。
- ② Aを裏にして、炎の部分に色をぬる。



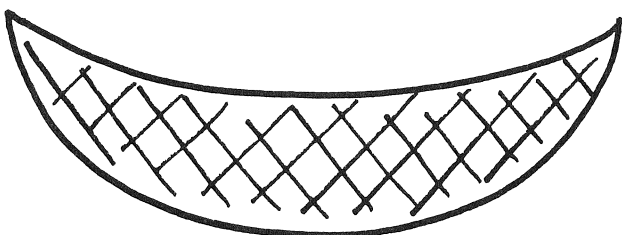
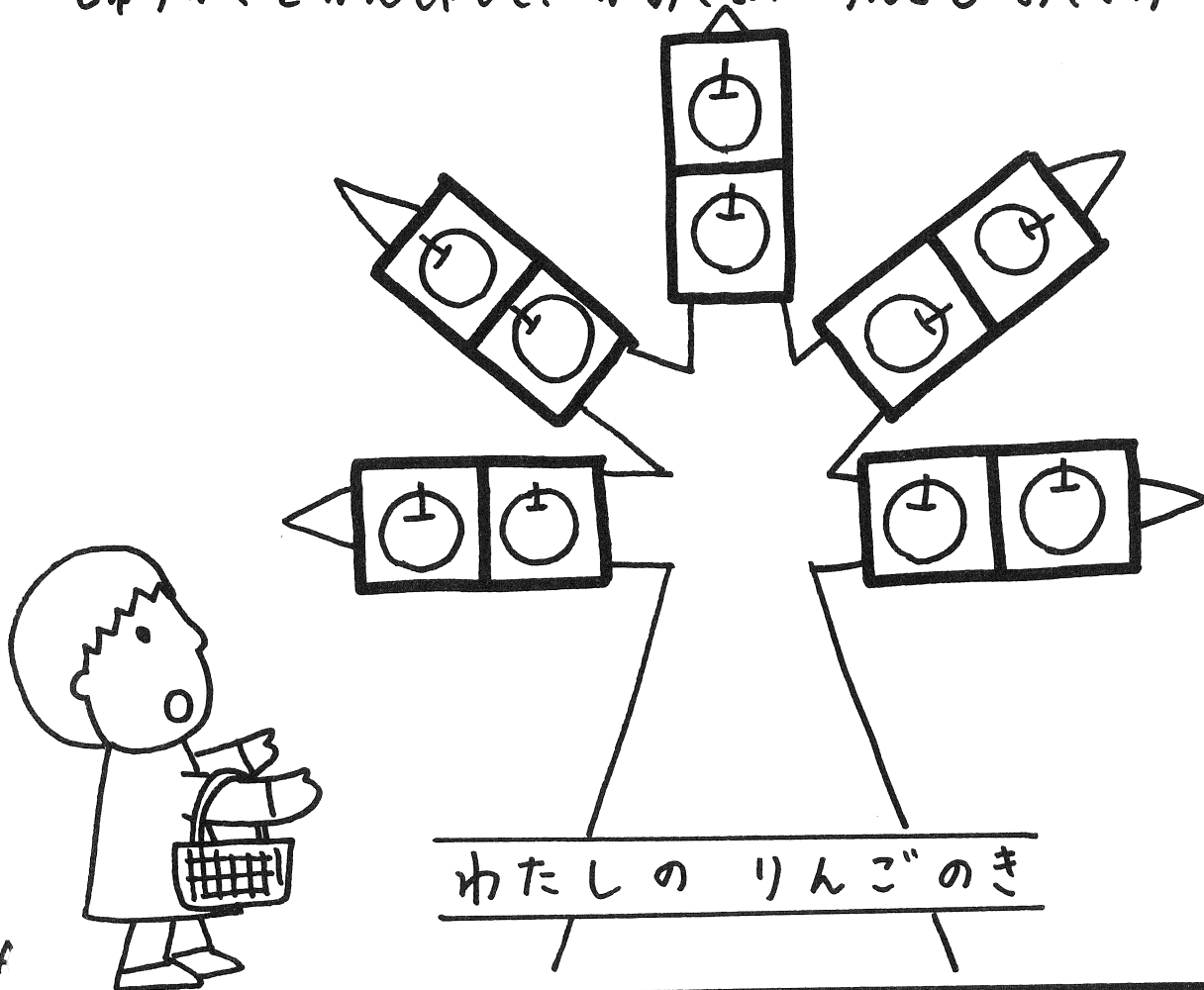
- ③ 表にもどし、炎の部分と中心を谷折りする。
- ④ Aの右部分を開いたり閉じたりしながら、  
ダニエルの友人の3人が火のYの中でも  
守られたことを確認する。

—完成図—

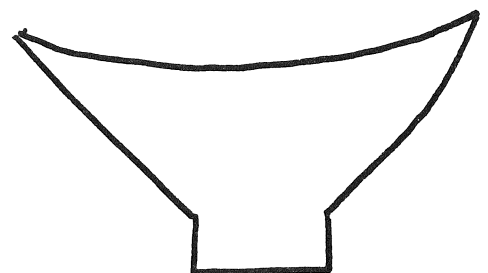


—— 切り取り線      - . - . - . 谷折り線

しゅうかくをかんしゃして、かみさまにりんごをおささげしましょう！



わたしのりんご

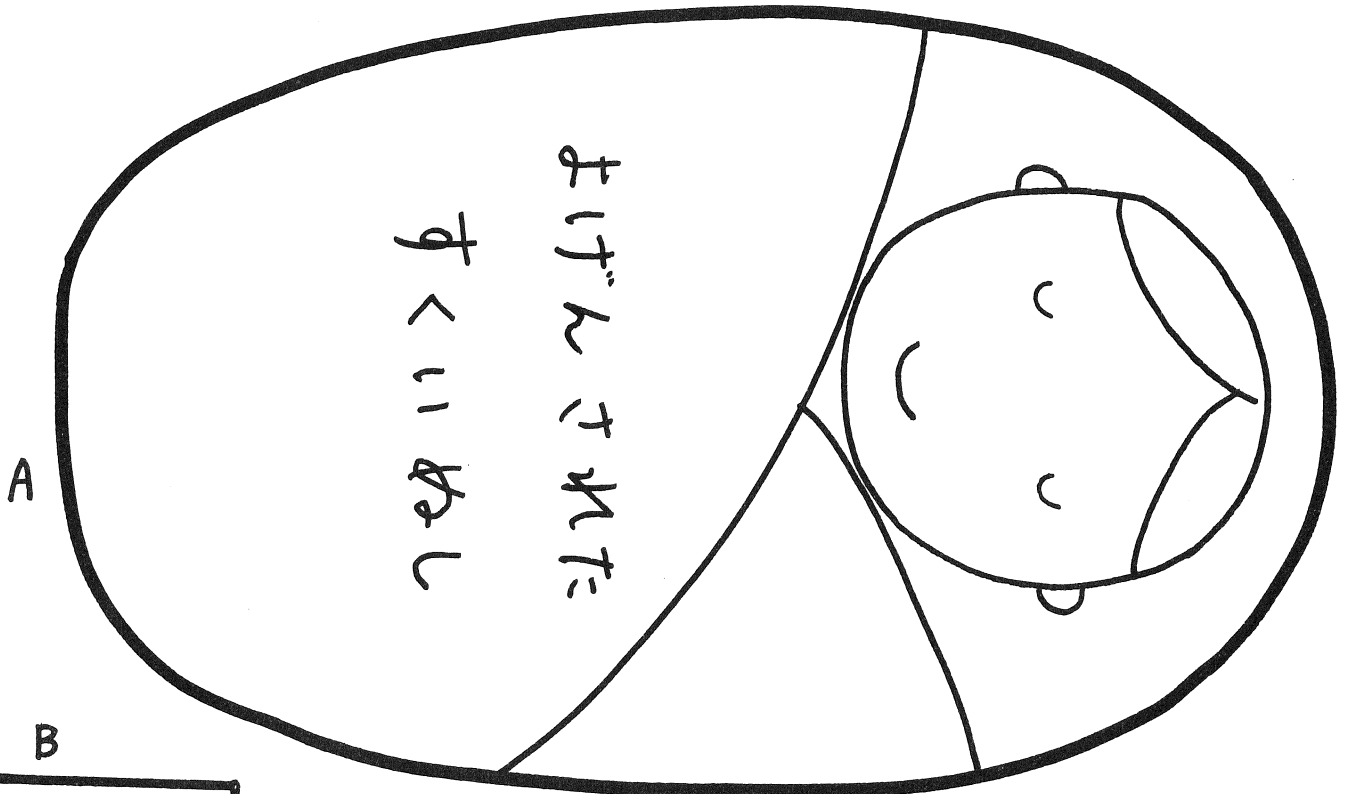


かみさまへのささげもの

① Aに色をぬり ㊦ をすべて切り取る。

② わたしのりんごと 神様へのささげもののりんごと、それぞれの入れ物のところ<sup>は</sup>に見る。





B

のりしろ
ふしき
のりしろ

① Aに色をぬり切り取る。

② Bの字の書いてある部分に色をぬり、Bを切り取り、図のように箱をつくる。



ふしき	ちから	えいえん	へいわ	のりしろ
-----	-----	------	-----	------

③ Bの上部にひもをつけ、Aの下部から吊り下げる。

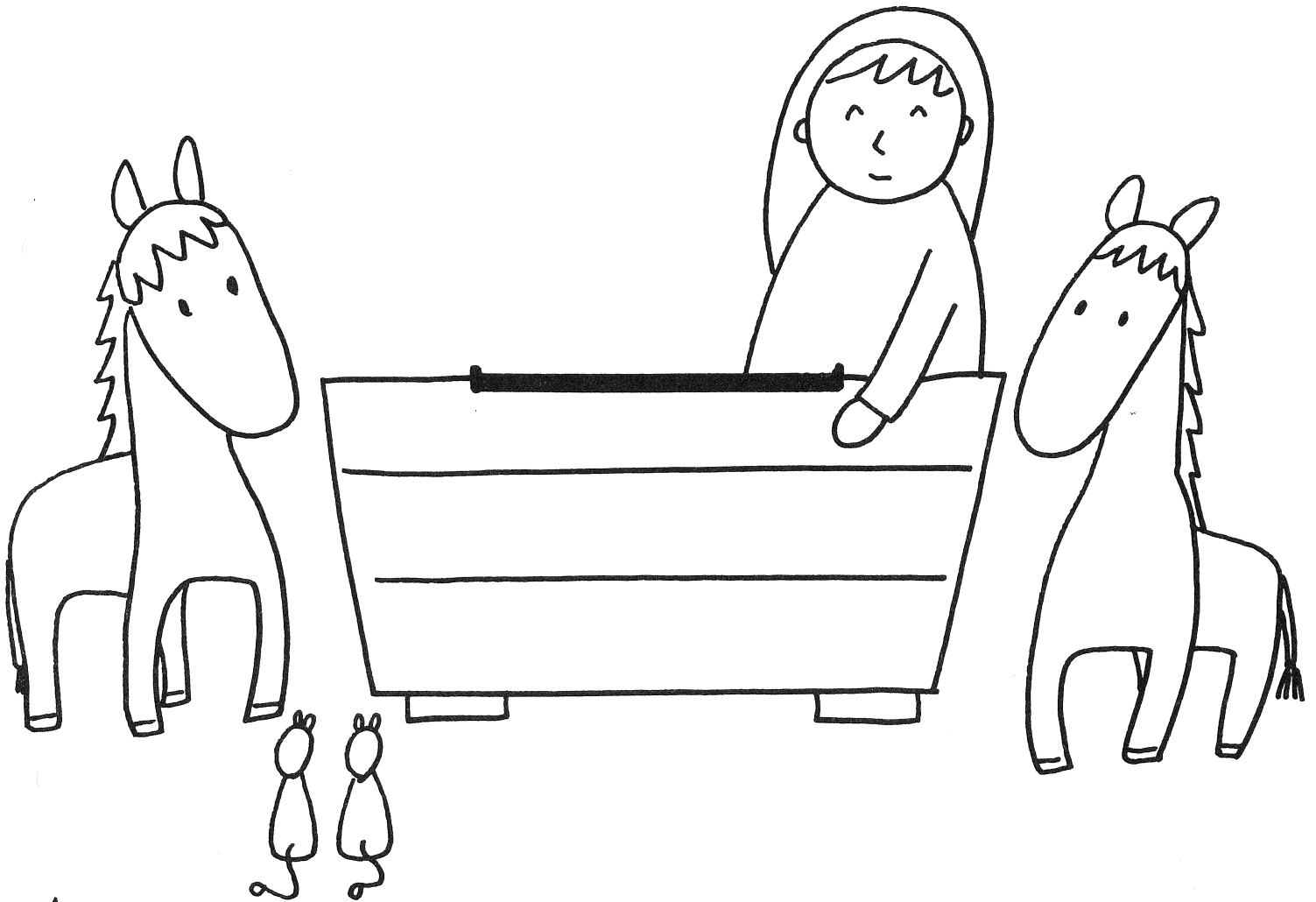
④ Aの上部にひもをつける。

—完成図—

————— 切り取り線      - - - - - 山折り線



## すくいぬしのおたんじょう



A

—— 切り取り線

.....  
谷折り線

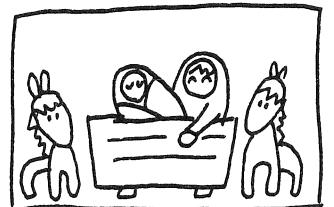
B

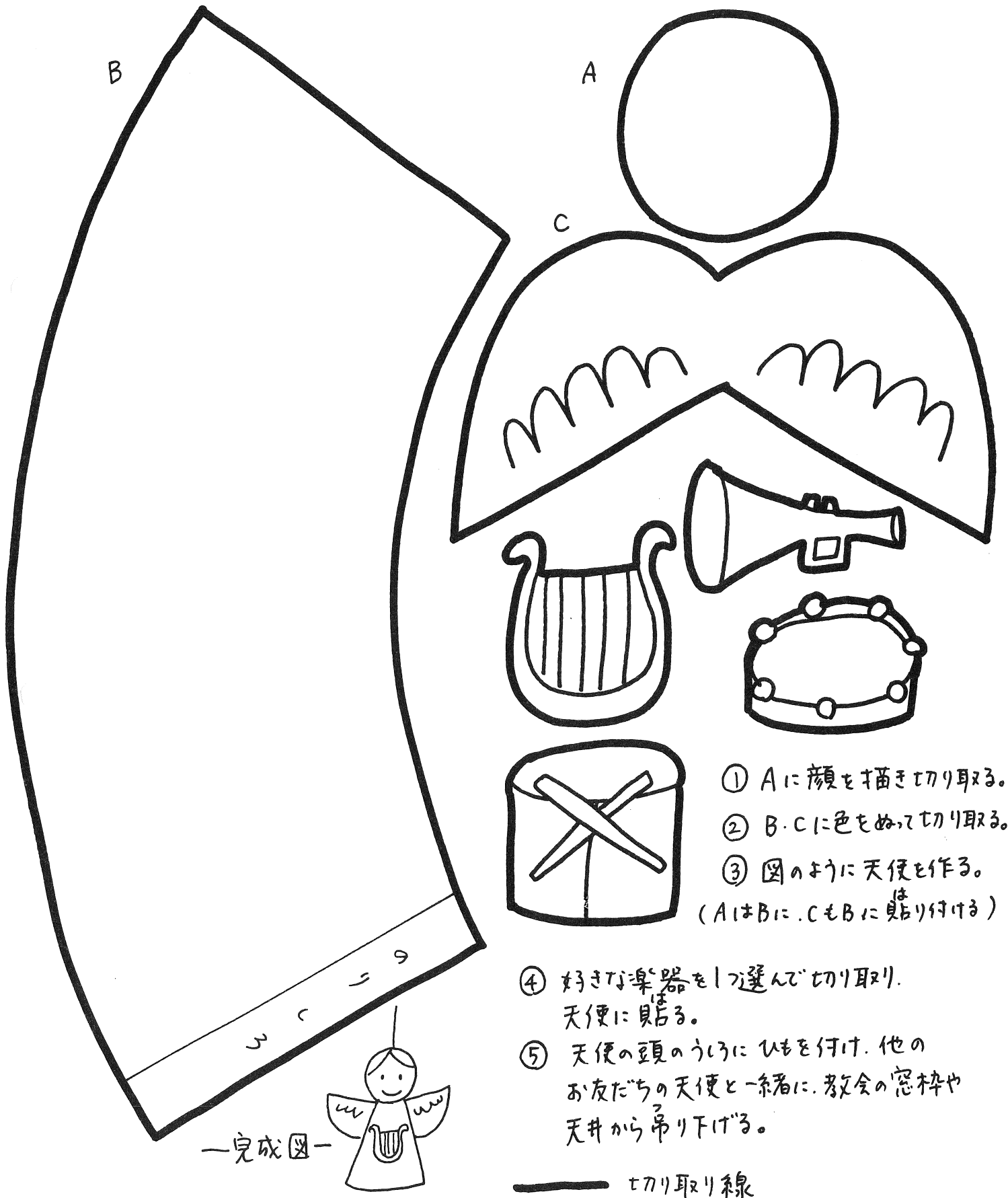
① A に色をぬり食司葉 おけ部分に  
切り込みを入れる。

② B に色をぬり切り取る。

③ B を谷折りし、ハス様を布でくるんで、  
A の切り込み部に差し入れる。

—完成図—





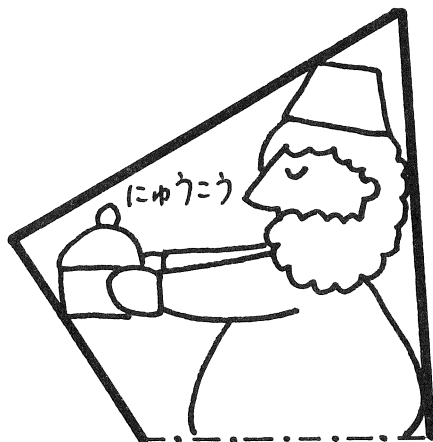
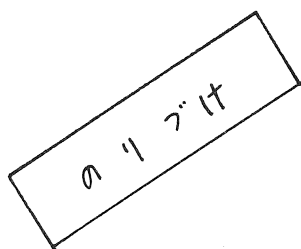
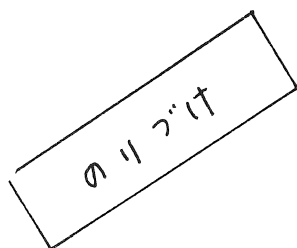
- ① Aに顔を描き切り取る。
- ② B・Cに色をぬって切り取る。
- ③ 図のように天使を作る。  
(AはBに、CもBに<sup>は</sup>貼り付ける)

- ④ 好きな楽器を1つ選んで切り取り、  
天使に<sup>は</sup>貼る。
- ⑤ 天使の頭のうしろにひもを付け、他の  
お友達たちの天使と一緒に、教会の窓枠や  
天井から<sup>は</sup>吊り下げる。

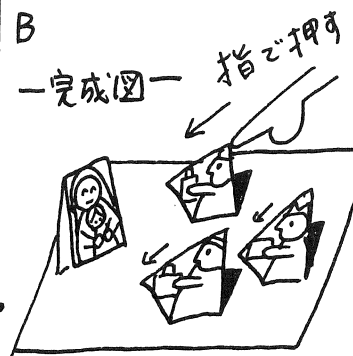
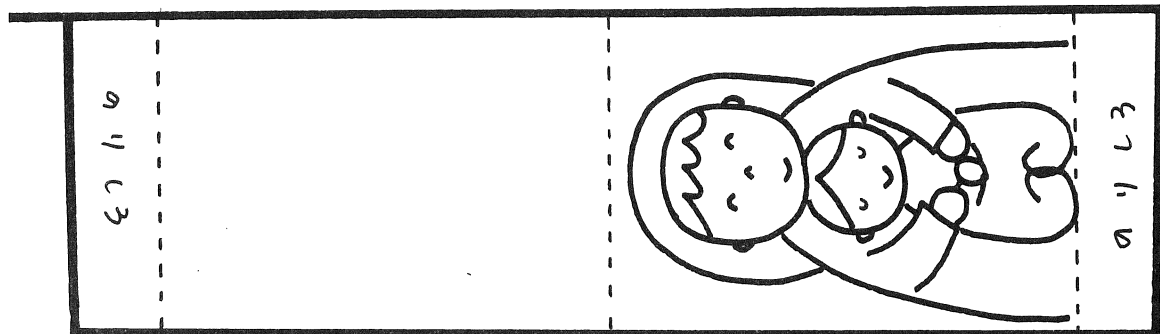
—— 切り取り線

いとたかきところでは、かみに  
えいこうがあるように。 ルカ2・14

# イエスさまへのささげもの



A



① Aに色をぬり、博士のまわりに切り込みを入れ、足元を谷折りにして立たせる。

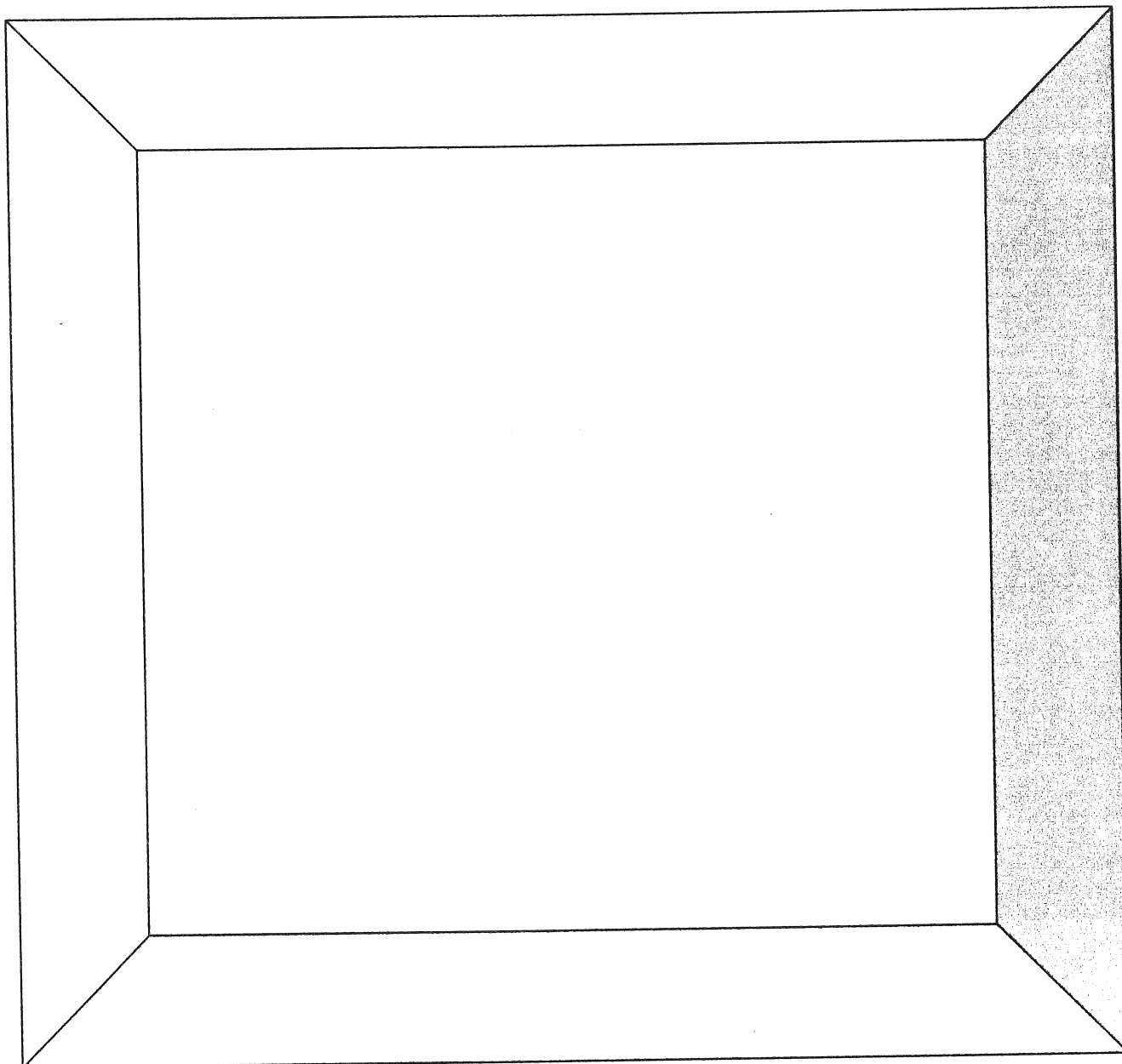
② Bに色をぬって切り取り、折り目をつけ、Aののりづけ位置に見とる。

③ 博士の頭部部分を指で軽く押し、博士がひれ伏してイエス様に宝物をささげたことを覚える。

—— 切り取り線  
----- 山折り線  
- - - - 谷折り線

**A** 2009 12月27日 かんしゃ！

いとたかきところでは、かみに  
えいこうがあるように。 ルカ2・14



- ①一年間の守りを感謝して神様におささげするプレゼントをつくり、上の枠の中に貼る。  
(上の枠の中に絵を描いたり、おりがみを折ったり・工作した作品を貼る。)
- ②神様へのプレゼントを持って、子どもたちと教師で礼拝堂の講壇の前に行き、机にプレゼントを並べ、感謝のお祈りをして、プレゼントを神様におささげする。
- ③子どもたちの神様へのプレゼントは、しばらく教会の中に掲示しておきましょう。

# ワーク A 解説 10~12月

(10/4~11/8吉田美穂、11/15~12/27鎌野幸)

10/4

## ●話し方のヒント

エリヤは、イスラエルの悪王アハブの時代に、神様によって遣わされた預言者でした。偶像礼拝をする王や民たちに対して、まことの神様に立ち帰るように語る働きをしたのです。やがて、エリヤが神様のみもとにとられようとした時のことです。神様は、エリシャをエリヤの後継者として選ばれました。エリヤはエリシャを訓練しました。そして、最後に「何をして欲しいのか」とエリヤがエリシャに尋ねると、エリシャは「あなたの霊の二つの分をわたしに継がせてください」とお願いしたのです。エリヤを見てきたエリシャにとって、エリヤの内にある霊の力なくして、自分の務めはできないと感じたのでしょう。私たちも同じです。神様の働きをするには霊の力が必要です。エリヤのように神様に求めましょう。

## ●ワークについて

神様の働きをエリシャにバトンタッチしたエリヤが、天にあげられたことを覚えましょう。

10/11

## ●話し方のヒント

イスラエルの国の人々は、まことの神様を捨てて、偶像を拝んでいました。ウジヤ王がなくなって、この国はどうなるのだろうか、イザヤは神殿にお祈りに行き、そこで神様を見ました。そのとき、神様の声を聞き、神様の僕、預言者として立ち上がりました。神様の僕とは、神様選ばれ、喜ばれる存在です。私たちはどうでしょうか。悲しんでいる人や弱っている人たちに対して、み言葉のように愛を示すことができますように。

## ●ワークについて

私たちがイザヤのように、神様の愛を伝える僕とされていることを覚えましょう。

10/18

## ●話し方のヒント

神様は、神様を信じる私たちに何を望んでおられるのでしょうか。私たちの周りにも偶像が多くあり、まことの神様を信じていない人がたくさんいます。そのような中で、信仰を守ることには大変です。ミカが活躍した時代は、まことの神様を信じているはずの人々が、偶像を拝んでいました。ミカはそのような人々に、神様が私たちにどのようなことをしてくださったか思い出ささいと語りました。しかし、人々は神様の思いを悟ることができませんでした。神様は、いつもへりくだって神様と共に歩むことを、私たちに望んでおられるのです。

## ●ワークについて

偶像に満ちた社会で、ミカのように神様を伝えることの大切さを覚えましょう。

10/25

## ●話し方のヒント

南ユダ王国末期の王たちの時代、エルサレムはバビロンによって荒らされました。そのような中、偽預言者が現われ、間違った預言を語っていたのです。しかし、エレミヤだけは他の預言者とは違いました。まことの神様の思いを人々に語っていたのです。しかし、エレミヤの預言はなかなか信じてもらえませんでした。でも、エレミヤは神様がどのようなことを計画しているのか語り続けました。私たちに対しても神様の計画があります。最初は、それはどのようなものかわかりませんが、いつもまことの神様に従うことが大切です。神様の計画は、私にとって最高の計画なのでから…。

## ●ワークについて

神様のご計画の中で、まことの神様に従って歩むことの大切さを覚えましょう。

11/1

## ●話し方のヒント

エゼキエルは、先週学んだエレミヤと同じ頃<sup>ころ</sup>に活躍した預言者です。エゼキエルにとってもまことの神様の思いを語り続けることは困難な状況でした。神様はエゼキエルに幻を見せられました。それは、神殿から水が流れ出し、どんどん増えていくのです。水は聖霊です。この水である聖霊が流れるとき、神様からはなれ、砂漠のような状態になっている人々に、まことの神様を礼拝する思いが与えられるのです。今も神様は、聖霊を注いでくださっています。私たちも聖霊によって、力、喜びが与えられます。

## ●ワークについて

水がどんどん増えたように、私たちも聖霊に満たされることを確認しましょう。

11/8

## ●話し方のヒント

ネブカデネザル王は夢を見ました。しかし、誰も夢の意味を教えてくださいませんでした。ダニエルは王のもとに行き、夢の内容と意味について語り始めたのです。それは世界のすべてを支配されている神様が、王に力を与えてバビロンを治めさせたこと、バビロンの後にも次々と強い国が出てくること、しかし、それらの国もやがては滅んで、いつか永遠に滅びない神の国が現れるということでした。まことの神を知らなかった王が、ダニエルの神様をほめたたえたのです。私たちは偶像に満ちた日本で生活していますが、私たちが信じるべきお方はまことの神様だけです。私たちもダニエルのように、まことの神様のことを話す勇気が与えられますように。

## ●ワークについて

偶像に勝利するものは、神様のみであることを確認しましょう。

11/15

## ●お話のヒント

ダニエルの友人のシャデラク、メシャク、アベデネゴは、王様に命令されても金で作られた王様の像を決して拝みませんでした。すると王様は怒って、三人を火の燃えさかる炉に投げ込んでしまいました。しかし王様が炉の中をのぞいてみると、三人は焼け死ぬどころか、神の子と一緒に自由に歩いていました。三人が「私の信じる神様は、燃えさかる炉の中からも私たちを救い出すことができる」と信じて、ただ神様だけに従ったからでした。神様は、神様だけを信じて従う人と共に歩んで、どんな中からも救い出してくださいます。

## ●ワークについて

三人は炉の火の中でも守られました。なぜだったのか話し合ってみましょう。

11/22

## ●お話のヒント

教会学校の礼拝では、なぜ献金をするのでしょうか？それは、私たちに与えられるすべてのものは神様のものであり、その十分の一を神様にお返しすることを、神様が決められたからです。神様は太陽の光・空気・水・お金・その他たくさん<sup>たくさん</sup>のものを独り占めしないで私たちに与えてくださいました。それだけでなく、イエス様を信じる私たちの罪を赦し、永遠の命まで与えてくださいました。神様に感謝して、与えられたものの十分の一をおささげし、お返ししましょう。神様は喜んで、さらにたくさんのプレゼントをくださいます。

## ●ワークについて

与えられたものの十分の一をおささげすることを覚えましょう。

11/29

## ●お話のヒント

今から約2700年ほど前、まことの神様を忘れて偽物の神様を拝んだために、イスラエルの人々は戦争に負けて外国に連れて行かれました。暗い気持ちの人々に、イザヤという人が神様の言葉を伝えました。「ひとりの男の子が生まれます。その方は不思議で、力強く、永遠に生きる、平和を導く神様、救い主です」。人々はこの言葉を聞いてとても慰められました。そして約700年後、この言葉どおりの救い主として、イエス様はお生まれになりました。

## ●ワークについて

イエス様こそ不思議で力強く、永遠なる、平和を導く救い主であることを覚えましょう。

12/6

## ●お話のヒント

イエス様はどのような場所でお生まれになったか知っていますか？すばらしい神様、救い主なのに、宿屋の部屋が満員で、馬や羊たちがいる汚れた家畜小屋でお生まれになり、動物のえさ箱である飼料おけに寝かされました。なぜそんな貧しいところでお生まれになったのでしょうか。それは、イエス様はどんなに罪に汚れた人の心にも、清い思いの少ない（貧しい）人の心にも来てくださることを教えるためでした。私たちの心にもイエス様は来てくださいます。イエス様を信じ、イエス様を心にお迎えしましょう。

## ●ワークについて

イエス様が汚れた家畜小屋でお生まれになったことを覚えましょう。

12/13

## ●お話のヒント

イエス様がお生まれになったとき、天使が羊飼いに「すべての人のための喜びの知らせです。今日、救い主がお生まれになりました」と伝えました。そしてたくさんの天使たちが神様のすばらしさを喜んでほめたたえました。この様子を見て羊飼いたちは、救い主がお生まれになったことが、どんなにすばらしいことかがはっきりとわかり、すぐにこの知らせを伝えに出かけました。私たちも神様のなされた「クリスマスのみわざ、イエス様のお誕生」を心からほめたたえ、この知らせを多くの人々に伝えましょう。

## ●ワークについて

イエス様がお生まれになったとき、たくさんの天使たちが神様をほめたたえたことを覚えましょう。

12/20

## ●お話のヒント

イエス様がお生まれになった時、不思議な星がユダヤの新しい王様の誕生を東の国の博士たちに伝えました。博士たちは星に導かれて、ユダヤの王のところではなく、ベツレヘムの小さな家で「新しい王」であるイエス様に会いました。博士たちは、「黄金」「乳香」「没薬」という、王様のための高価な宝物を、ひれ伏してイエス様にささげました。私たちも、私たちが罪から救うためにお生まれくださった、まことの王イエス様の前にひれ伏して、精一杯のものをおささげしましょう。

## ●ワークについて

博士たちがイエス様の前にひれ伏して宝物をささげたことを覚えましょう。

12/27

## ●お話のヒント

今日は2009年最後の日曜日です。この一年のことを思い出してみましょう。うれしいこと、楽しいこと、悲しいことや苦しいこともありましたね。その一つ一つのことを神様に感謝しなさいと、パウロ先生は言っています。良いことは感謝できますが、なぜ悪いことにも感謝しなさいと言うのでしょうか。それはすべてのことの中に、目には見えなくても、神様はイエス様を信じる私たちと共にいてくださって、私たちに良いものを与え、慰め、励まし、助けてくださっていたからです。神様に「ありがとう」と感謝しましょう。

## ●ワークについて

この一年も共にいてくださった神様に感謝してプレゼントをつくり、おささげしましょう。